



教えるよりも、学び合う

学習支援事業とは

家庭で学習環境が整いにくい中学生を主な対象として、宿題や定期テスト・受験に向けた学習サポートをする事業です。「勉強の仕方がわからない」「やる気がない」「学校の授業についていけない」など、困り感は様々です。京都市ユースサービス協会では、学習支援事業を京都市から受託し、関係機関と連携しながら運営しています。



京都市ユースサービス協会とは

当協会は子どもから責任ある大人へと成長する若者を支援する、専門スタッフの「ユースワーカー」が、市内全域で多様な活動を展開しています。

ユースワーカーとは

「若者の味方」として、若者が本来持っている力を発揮できるような場づくりや、やりたいことを実現するお手伝いをしています。



運営で大切にしていること

学習会が安心して過ごせる場であることを大切にしています。



信頼関係を築き、言いたいことを言えたり、自身の意見が尊重されたり、自分を大切に、

気にかけてくれる人がいると、学習者に感じてもらえるような場づくりを目指しています。

学習会に関わるいろんな人の声

ボランティア



「一人ひとりの子どもの未来と彼らがつくる社会に関わることができることが魅力です」「自分自身の苦手なことや得意なことが見えるようになった」「今まで社会のレールにのって学校に通ってきたけれど、学校の勉強をこなすだけが学びではない。そんな風に考えたときに、学習会のような場での多様な学びのあり方に触れて、自分も体現していきたいと思いました」

「塾みたいに厳しいところではないか不安だったけど優しく出迎えてくれて通い続けられている」

「第二の実家みたいなところ」

「ボランティアの話を聞いて、こんな夢いいな」「こんな未来もいいな」と思えた」



学習者



コーディネーター・担当ユースワーカー



「学校の宿題や受験勉強などは中学生にとって“日常”的な一部。だから学習会は“日常”的の支援だと思う」「ボランティアにとってのチャレンジの場もある。悩みも失敗も受け止めます」



得られる経験やスキル

思春期との 関わり

学習者の話を聞き、目標達成や悩み解決に向けて、一人ひとりに寄り添って共に悩む経験ができます。また、信頼関係を築き、それを維持する経験から対人関係スキルを体感しながら学ぶことができます。



相手に 伝わるように 伝える力

勉強を教える時、仲間同士で共有する時、“自分の言葉”で伝える場面はたくさんあります。中には説明しづらいことも。相手に伝わるように、工夫する経験を積むことができます。



仲間ができる

運営を支えるのは仲間同士の協力です。学習者のことやイベント実施のことなど議論して、成し遂げる機会がたくさんあるので、仲間ができます。

この場に集う人は、学習者もボランティアもスタッフも、応援してくれる地域の人も、様々な背景や価値観を持っています。多様な人々と出会い、言葉を交わし、つながり、いろんな価値観に出会うことができます。

様々な背景を持つ 人との出会い

ボランティア活動をする上でのお願い

事業の特性上、学習者との信頼関係を大切にしています。また、日常の運営は仲間全員で協力して行います。安心して過ごせる場づくりのため、右記のことをお願いしています。

- 繰続的に関わる
- グループでの活動を大切にする・できる
- ルールを守れる

こんな人、ぜひ一緒に活動しましょう!

- 子どもが好き
- 学習者を主役として、学習をサポートしたり、楽しいことを考えたりしてみたい
- 学習者を真剣に考え、寄り添える
- 自分自身の学びとして活動したい
- 何かをやり続けてみたい



+α こんな人も大活躍!

- 教育や福祉を勉強している、関係する仕事を目指している
- 理数系の勉強が得意

ボランティアの待遇

- 交通費支給: 1,000円/回 超える場合は市内分に限り実費支給
- ボランティア保険加入: 活動中や行き帰りの怪我なども安心(協会で負担します)
- 活動に役立つ研修実施: 過去テーマ「発達凸凹のある子と関わるときのヒント」「知っておきたいセクシャルマイノリティのこと」「京都市の受験制度について」etc
- 活動証明書発行: ボランティア活動に取り組んだ証明書を発行することができます。